

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京都市辰巳保育所	施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成 30 年 1 月 22 日

総 評	<p>辰巳保育所は、昭和14年に農村地域の家庭の子どもを主に預かる施設として開所した保育所です。現在の周辺環境は、昔ながらの畑や自然が残りつつも、新興住宅やマンションなども数多く建設されている地域にあります。</p> <p>0歳から6歳の子どもたちの、家庭では得られない子ども同士の豊かな育ち合いを大事にすると共に、子どもたち一人ひとりを主体として受け止め、主体としての心の育ちを大切にしています。コーナー保育を中心に、年齢や発達に応じた玩具や環境を整え、子ども自身が興味や関心を持ち、自ら意欲を持って遊べるよう工夫しています。</p> <p>毎日の朝礼や毎月の職員会議、年2回開催の総括会議では、日々の保育で大切な事や、子どもの様子に応じて保育計画を見直し、より良い保育になるよう努めています。保護者には、保護者会やクラス懇談会で、それらの子どもの育ちの中で大切にしていることや保育のねらいをパワーポイントや資料を用いて丁寧に説明しており、保育内容について共通の理解が持てるよう取り組んでいます。</p> <p>所内は十分なスペースが確保されており、ランチルームやスリーピングルーム、室内運動スペースなどと共に、乳児の保育室は、それぞれ畳のスペースと床のスペースと共に乳児専用園庭があるなど、その環境を有効に活用し、子どもたちが思い思いの遊びや活動を楽しめるようにしています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成計画を作成し、目指すべき職員像や役割を明示し、配置や職階に応じた育成に努めています。OJT や環境スケール研修、リトミック研修、新保育指針研修などにも取り組み、計画に反映するようにしています。 ・ 月 1 回所長研究会を開催し、研修や資質向上に対する取り組みを行うと共に、日常的な保育の計画や記録に対する評価・反省を実施しながら、保育所独自で保育に対する自己評価を毎年実施しています。 ・ 地域子育て支援事業を実施し、毎日 9 時から 16 時半まで園庭開放を行っています。また、子育て支援室も同じように開放し、夏季期間以外はランチタイムの利用も可能にしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育・経営両面で職員の意見を反映するための具体的な取り組みを工夫されるとより良いでしょう。 ・ 防災安全委員会などリスクマネジメントに関する委員会を設置し体制を整備されるとより良いでしょう。 ・ 幼児に対する保育についての標準的な実施方法を文書化するとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

【様式 9-2】

【保育所版】 評価結果対比シート

(注) 判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	京都市辰巳保育所
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成30年 1月22日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項目番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	非該当	非該当
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	非該当	非該当
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

[自由記述欄]

・市が作成した「市営保育所運営方針」及び「京都市営保育所保育の計画」に基づき、保育所独自の事業計画と保育計画を策定しています。保育の理念、方針、目標は明文化されており、入園のしおり(重要事項説明書)やホームページ、園内に明示されています。

・保健センターや支援センターとの連携により地域にニーズの把握に努めているほか、月2回実施している市営保育所所長会には京都市幼保総合支援室も出席し、京都市の子どもを含む人口動態や福祉ニーズを反映した市の方針等の情報交換があります。今後は、保育所周辺地域の各種福祉計画の策定動向や内容に応じて具体的な取り組みが進められるとより良いでしょう。中・長期的な計画は市予算との関係から個別での策定は難しく非該当とします。

・事業計画は、「市営保育所のあり方」として保育を中心とした3年間を見通した行動計画がありホームページで公表しています。

・月2回実施している市営保育所所長会のうち1回は、市営保育所所長会開催後に別途所長研究会を開催し、研修や資質向上に対する取り組みを行うと共に、日常的な保育の計画や記録に対する評価・反省を実施しながら、保育所独自で保育に対する自己評価を毎年実施しています。また、第三者評価を毎年市営保育所として受診し、市営保育所間で結果を共有し改善に繋げています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a	
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b	
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	b	
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	b	
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a	
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
			18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
	19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a		
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a			
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a	
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b	
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a	
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a	
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
		II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
			27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

・施設長の役割と責任は職務分掌に明示されています。遵守すべき法令等について、職員に対してコンプライアンス推進や情報セキュリティ対策強化の内容の周知を行うためチェックシートを利用するなど工夫しています。今後は、関係法令等について職員が確認したい時にすぐに確認できるよう工夫されるとより良いでしょう。

・管理者は、職員会議や職場研修などを開催し、保育の質が向上するよう努めています。また、経営の改善や業務の実行性を高められるようリーダー会議などを持ち取り組んでいます。今後は、保育・経営両面で職員の意見を反映するための具体的な取組を工夫されるとより良いでしょう。

・人材育成計画を作成し、目指すべき職員像や役割を明示し、配置や職階に応じた育成に努めています。OJTや環境スケール研修、リトミック研修、新保育指針研修などにも取り組み、計画に反映するようにしています。実習生の受け入れは、マニュアルに基づき体制を整備しています。

・運営の透明性確保のため財務的な内容である予算や決算、「市営保育所運営方針」などをホームページで公開しています。運営内容についても市の幼保総合支援室が管理を行っています。今後は、市全体の予算の関係上難しい部分はありますが、外部監査の活用等による専門家のチェックを実施できるとより良いでしょう。

・地域子育て支援事業を実施し、毎日9時から16時半まで園庭開放を行っています。また、子育て支援室も同じように開放し、夏季期間以外はランチタイムの利用も可能にしています。それらの内容は携帯アプリにより広く情報提供しています。災害時は、避難所への出前保育や給食施設を活用した炊き出しや備蓄食料提供などの取組体制を整備しています。今後は、子育てに関する講演会や研修会等を保育所で開催されるとより良いでしょう。また、地域のニーズに基づいた保育所活動以外の地域貢献に関わる活動を実施されるとより良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	b	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	b
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	b
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	b	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a	

[自由記述欄]

・保育所等の変更にあたっては転園先から問い合わせがあった場合に、保育要録を送付しています。今後は、その内容について手順と引継ぎ文章を定めるとより良いでしょう。

・苦情解決の仕組みが確立しており、園内に掲示すると共に「入所のしおり」にも明示し、周知に努めており、それらの内容は記録されています。緊急時の対応は朝礼で発信するなど迅速な対応を心がけています。また、保護者アンケートも定期的の実施しており、要望の把握に努めています。今後は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、その内容を公表されるとより良いでしょう。

・定期的に遊具や保育室の環境を点検しチェックを行っています。ヒヤリハット報告書は随時記録し、集計したものを振り返ると共に市に提出し、市営保育所全体の情報はフィードバックされ共有しています。今後は、防災安全委員会などリスクマネジメントに関する委員会を設置し体制を整備されるとより良いでしょう。

・災害時における避難訓練実施計画があり、毎月訓練を実施しています。今後は、防災計画である水防法で義務化された避難確保計画を作成されると良いでしょう。不審者侵入時の対応について警察官が保育所に来て研修を実施しています。

・保育についての標準的な実施方法として乳児については「育児マニュアル」が文書化されており、職員に周知されています。今後は、幼児に対する保育についての標準的な実施方法を文書化するとより良いでしょう。指導計画は年間、月間、週日案と理念に沿った内容で策定され、それらの評価・見直しは毎月実施すると共に、年2回、前期・後期に分けて総括会議を持ち、評価・反省を行い、それらの内容は記録され、次の計画に内容を反映させています。今後は、記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないよう工夫されるとより良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	a	
		A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
			48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
			49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
			50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
			51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
	56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a		
	A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a	
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a	
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a	
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a	
61		② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a		

【自由記述欄】

・各保育室には子どもたちの絵画や造形作品が展示されています。こどもの発達に応じた玩具が用意され、年齢に応じて片づけ用の玩具名や玩具の写真を示し、子どもたちが元の場所にしまえるよう工夫しています。ランチルームやスリーピングルームが確保されており、保育や食事、午睡の時間をしっかりと持つ事ができています。また、専用の運動スペースが所内に整備され、マットや低いうんてい、大きなボールで遊ぶことができます。

・乳児は育児担当制を取り入れ、特定の大人との信頼関係を構築させ、安心して過ごせるよう配慮しています。市営保育所所長会で「保育環境評価スケール」を作成し、子どもにとってより良い環境が整備できるよう工夫しています。絵本の部屋があり、貸し出しも地域の方を含め行っています。絵本だよりは隔月で発行し、年齢に応じた推薦絵本を紹介しています。

・18時までの開所となっており、延長保育に配慮したおやつ等の提供は実施していません。早朝や18時までの保育を利用する子どもが、家庭的でゆったりとくつろげるよう、環境を整えています。今後は、指導計画等に長時間保育についての位置づけが明示されるとより良いでしょう。

・所内のスペースを利用して畑やプランターで野菜を育てるなど栽培活動を行っており、収穫したものを年齢に応じて皮むきや包丁を使用して調理をしたりしています。野菜以外の食材を子どもたちで買い出しにいたり、おやつを作るなど食事を楽しめるよう工夫しています。また、給食職員が保護者に食事についてアドバイスをしたり、レシピを紹介するなど家庭でも食事に興味を持ってもらえるよう取り組んでいます。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	a
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

・日々の保護者対応の他に、0歳児は24時間表、1～2歳児は保護者との連絡ノート、3歳以上児はお帳面を通じて家庭との連絡連携を取っています。また、それらの内容について基準を定め職員が共通認識を持てるようにしています。

・自身の保育内容を振り返れるよう行動評価シート、自己申告評価と管理者による評価があり、職員の保育実践の質が向上するよう工夫しています。